

高校阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区南
町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者 川崎 真
発行責任者 吐田政弘

紙面紹介

- 一面 自治会役員選挙・部説(制服)
- 二面 予算決定・文芸欄・エッセイ
- 三面 特集愛好会・さくくば欄
- 四面 クラブ報告・新任の先生

定員不足
新執行部未成立か

きょう補充選挙

前途多難

低迷する自治会

去る六月二十七日、昭和五十年自治会役員選挙が行われ、橋本会長以下五名が信任された。ところがこの一年生執行部は、定員七人に満たないため、正式に成立できていない。そこで、本日、補充選挙が行われることになっている。自治会活動の中心となるべき二年生はどうかという声が出ている。

今回の自治会役員選挙はない。もし、執行部が成立し、五名の立候補者があり、全しなれば、せっかく決まった無事に信任された。各ポストに補充選挙で、文書の役員は次のようである。

会長 橋本健一
副会長 有田勝也
書記 橋村宏一
会計 寺村圭司
学代 上野浩司

ところで、この新執行部は皆さん御存知のように全員一年生である。いろいろ問題も起ってくるだろうが、それだけに新鮮な活動も期待したい。

しかし、全員信任されたというものの、実際には、執行部成立七人の基準に達していないため成立していない。会長にインタビュー

会長にインタビュー
会長 ます立候補の主旨は、画一化されてしまうなど、その他いろいろあげられたい。だが、ここで考えてみると、制服というものは、その長所、短所の問題では終わらないように思う。風紀に関する事、バツなど身分表示やその他いろいろ問題点がある。

もし、自由化した場合、第一に考えられることは、風紀の乱れという点である。なかには、学校の帰りに遊びに行く生徒も出てくるだろう。また、私服になると、こ

見つめよう制服問題

部説
現在、阿倍野は、依然として制服制度である。なぜ今なお続いているのだろうか。

制服にも多くの長所がある。例えば、華美にならない。競争心をあおらない(特に女子の場合)。経済的である。学生らしくさわやかだ。服装というものを整えることによつて精神的にひきしまるなど数多い。しかし、短所も少なくはない。機能がない。気候に適応していない。不潔である。個性の表現が制限され、

広告に本校名

五月十九日
から「お菓子のコトブキ」が出したシュガーレスケーキのキャンペーンの一である。

この広告は「お菓子のコトブキ」(本社・尼崎市)が、学園シリーズと銘打ったシュガーレスケーキのキャンペーンの一である。

この広告シリーズにおいて、これまでポスターに載っているモデルは、私立の女子大生であった。しかし、学園らしさを表すには女子高生の方が、さらによいと言ふことで、府下の私立女子高校にもいくつかあつたが、承諾してもらえなかったという。

この度のポスターは、その案を作った広告代理店の社員が、知人である本校女子生徒の承諾を得て、三月に写真撮影されたものである。ポスターは、五月初めに



「阿倍野高校」と明記された学園シリーズキャンペーンのポスターを扱った新聞記事

趣味の交流

2学期から必修クラブ

必修クラブの復活については、昭和四十七年度から検討されてきたが、「現在行なわれている自治会クラブ活動に、多少でも影響をあたえはしないだろうか」といふ点で、口を揃えて「自由化にしてほしい」といふ声があつた。

先づ、身近なところでは、バツをつけるなどして、それなりの態度を示すことである。しかし、自由化を望む人ばかりではない。制服支持者も多いと思う。

先生方は、生徒の意見で、自由化を望む人ばかりではない。制服支持者も多いと思う。

制服問題は、賛否両論さまざまであると思う。

一度H・Rなどで両者の意見を言うなど「制服問題」を見つめ直してみてもどうか。

この必修クラブは、趣味・興味を同じくする者の、学年や組の存在を離れた交流である。そして、顧問の先生方も、生徒に自信を持たせて指導して下さる先生方ばかりを選んである。また、先生と生徒の親密感を増すため、両者が一緒に活動し、授業では遠い(？)存在である先生を、もっと近いものにしてもらうというの、この必修クラブの大きな目的である。

ところで、この必修クラブと自治会クラブ活動の違いについて述べておくことにしよう。まず大きな違いは、必修クラブは週一回で創られたものである。だから、本来ならば自分一人から自治会クラブ活動に参入して、他のクラブと交流するのとは、全然違う。また、自治会クラブ活動は、希望の多すぎるクラブに対して希望調整をする予定だ。そうである。

部告

このたび、新聞部では読者に紙面を解放する運動の一環として、無料生徒広告欄を計画しています。

一般紙の三行広告的なものから、クラブ員募集や恋人募集などのユニークな広告まで何でも結構です。(但し利権を目的としたものは不可)

なお、申し込み方法は「部告」欄に投稿と同じです。

針の末

相も変わらず、皆無関心だ。このままでは、五〇年度前期執行部は定員不足で未成立、文化祭・体育大会が出来ません。と言われても、ああそうかでおしまいだ。文化祭・体育大会が出来ないというのは、最高の殺し文句(？)だと思ふのだが、それでも何ら効き目はなさそう。皆は、やはり「なんとかなる」で、傍観主義を決めこんでいるのだろうか。あるいは文化祭も体育大会もあつてもなくても、どうでもいいと思つてゐるのだろうか。自治会執行部などという面白くない所は誰かに任せておいたらいいとでも考えているらしい。今度の選挙を振り返つてみると、今までと少し違う方法がとられてゐる。立候補者の声は、立候補者の声を通じては執行部を身ごと身近にするために、行なわれたい。この利点よりも、今のところ、次の二つの欠点の方が大きなウエイトを占めているようである。

第一、放送の、直接顔をあわせない欠点は利点でもあるという事だ。つまり、人前で話すのは苦手だが、立候補の意志はあるという人を、立候補は認め出してしまつた。次に、聞く方の問題である。演説の時、全立候補者の演説を真面目に聞いて投票した人が、果して何人いたろうか。一二年をバツに雑談を繰り返して、演説など何処吹く風だ。と、自治会に皆の関心が集まり、もつと我々の聞く態度が出来るまで演説は放送の方が賢明だろう。立候補演説に文字通り立ち会つて、立候補者がひどく遠くに見えたのだけが印象に残つてゐる。

—新聞部—

陸上
女バレ

上昇気運
各クラブ

夏の娯楽情報

その他パニック映画『タ
ワーリング・インフェルノ
』（松竹座で公開）これは
スティーブ・マックイーン
が、消防署員となり、ポー
ル・ニューマンが、ビル
の設計者となる。彼等は、ビ
ルの大火災の現場を舞台と
して生き残った人達を助け
て、大活躍をする。そのう
て、ビル火災の恐しさをま
と少し遠出をして、静岡県
去る五月十日、晴天に恵
まれて春期の恒例クラスマ
ッチが開催された。内容は
昨年とはほぼ変わらず、女子
のバレーボール、男子のサ
ッカー・バスケット・ソフ
トボールなどであった。
今回はこのクラスマッ
チに初めて参加し、優勝し
た一年五・六組の運動委員

優勝の声

去る五月十日、晴天に恵まれて春期の恒例クラスマッチが開催された。内容は昨年とはほぼ変わらず、女子のバレーボール、男子のサッカー・バスケット・ソフトボールなどであった。

今回は このクラスマッチに初めて参加し、優勝した一年五・六組の運動委員

う。昨年九月以来、話題を呼んでいる『ベルサイユのばら』が、再び宝塚歌劇団により、上演されることになった。こんどは前回と違

つて、花組公演で内容も
作第一巻から第八巻まで

を中心にインタビューをしてみた。

五組男子「僕達のチームは、積極的過ぎる位だった一回戦、二回戦は、順調に勝ち進んだけれど、さすがに決勝戦は、激戦だった。燃え尽きた」といふ。

五組女子「私達のチームは、決意戦としては、もっと種目をふやして欲しい」

ドレシ・榛名由梨（公演七月三日から八月十二日、なお八月十四日から九月三十日まで雪組の公演）

とにかく、長い夏休みを思います。共に明るいう学園生活とこれについて無し

①昭和三十二年五月三十日

②放課後と授業中が逆

③よく食べ、眠ること

④古き事になりて覚え不

横山志津子（体育）

①昭和三十六年九月一日生

②明くるて楽しい

岩井成之（生物）

④いわく言い難きあの時

⑤始めて出会った人との

よりよき人間関係を結ぶこと

楽しく過ごそう。	つくりこに邁進しましょう。
は、少し消極的でどうなることかと思っただけ、後になる程、みんなが、積極的なやってくれるようになる	①昭和二十六年三月六日 ②活気が感じられない ③これと言っていない ④常に初恋のつもり
小井寛三	奥田庸雄
化学	理科
一年担任の先生方（追補） 今中先生	①昭和二十二年五月三十一日 ②クラブが活氣的 ③油絵・旅行 ④小学校三年の秋
音楽の形式で、バルカロ	

った。それに先生の手助けもあって、優勝することができて、大変うれしい。」
 六組男子「僕達のクラスは入学当時から仲が良かったので、チームのムードは上々。応援も盛んだったし、すごく楽しい一日だった。」
 また、二・三年の優勝チームの代表にインタビュ

を参加させて欲しいとかいろいろな意見が出た。このように、多くの問題点を優勝した人達が感じているのだから、それ以上に負けた人達は感じていると思う。そんな事をH・Rで、もつと話し合ってみて、みんなのクラスマッチをよくしていただくのではないか。

①昭和二十六年十二月六日
 ②おとなしすぎる
 ③兄今易にこつています
 ④小学校四年生のとき
 紫山美恵子 国語
 ①昭和二十五年三月十五日
 ②明るい縁がほしい
 ③惰眠にふけること
 ④素敵な人に出会う時
 鈴木貴人 国語
 ①昭和二十六年二月六日
 ②レと云うのがある。舟唄のことであるが私はこの音楽がたいへん好きだ。さりげなく、もの静かな雰囲気だからでしょうか……
 諸君は宿題やテストで毎日大へんで、本など読む暇もないでしょうが、書き出し流れの様な舟唄の雰囲気がある「大いなる遺産」(ディッケンズ著)を流ん

の中の金沢大学で四年を過
し卒業後すぐ大阪に勤める
山歩きが趣味。

今回の新聞も、例によってギリギリまでねばってのべ切でようやく間に合わせのことができました。アン

このたびは、一年生参加で、部員全員全身全霊をこめて作り上げ、ようやくの完成であります。

この新聞の感想なども聞かせていただければ幸いです。

(仙)